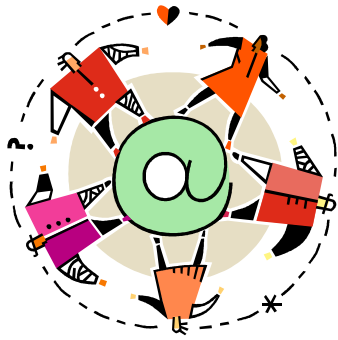


NAGANO ピアサポだより



第 19 号

発行年月日：2018年3月30日（金）

発行：長野県ピアサポートネットワーク

事務局：長野県長野市若里7-1-7

長野県社会福祉総合センター2階 NPO 法人ポプラの会事務局内

発行責任者：代表 大堀 尚美

Tel: 026-228-3344 Fax: 026-224-3777

アドレス：nagano.peer-support@kind.ocn.ne.jp

「 願 い 」

代表 大堀 尚美

先日 JR の車掌さんにとっても丁寧な対応をして頂き感激しました。東京駅から新幹線に乗り長野に帰路で夜遅く疲れていたもので座席に座って辛くなった際、車掌さんがすぐに静かに休める場所へ私を案内してくださいました。ほっとして涙が出て、車掌さんに救われて有難いという思いになりました。鉄道会社の方々も乗客の安心と安全の為に働いてくださる感謝の思いを強くしました。

長野県障がい者の地域交通網を考える会では長年、運賃割引に取り組んできました。JR 他公共交通機関各社にも精神障がいのある人に運賃割引を実現して頂きたいです。精神障がいのある人への「公の差別」であると考えます。去年は九州の西鉄、今年は札幌市内の地下鉄でも精神保健福祉手帳の割引が実現しました。長年の運動の努力が実を結んだのです。私達も 6 月に JR 長野支社に運賃割引の交渉に行きます。私たちの願いを実現するために運動してまいりましょう。

長野県ピアサポートネットワーク 今年度を振り返って

ピアサポートネットワーク今年度の振り返り

Y.H.氏

今年度の振り返りで比重が大きい物は 10 月 25 日に行われたピアサポート研修です。きょうされん専務理事の藤井克徳氏に「障害者権利条約と障がいのある私たちの暮らし」というテーマでご講演をいただきました。その後ファシリテーターとしてパネルディスカッションをリードしていただきました。パネルディスカッションではピアサポーターとして活動している 5 名の方が登壇されました。活動の内容を広めていく良い機会だったと考えます。

ここで気になった意見は「医療現場ではピアサポートはあまり身近な物では無い。病院にピアサポートという風穴を開けたい」というひとりのパネリストの声でした。パネルディスカッションを通して皆が思ったことは、当事者が発信していかなければいけないということだと考えます。

藤井さんが最後におっしゃった「集まろう」「繋がろう」「伝えよう」「動こう」「続けよう」の言葉を胸に刻み私たちは今後もピアサポートという活動を進めて行こうと思うのでした。

今年度の振り返り

ハートラインまつもと 石田 勝氏

私は長野県ピアサポートネットワークに入会してからまだそんなに経っていません。たあくらたあ（社会問題を扱う雑誌）の記事に載せて頂いたり、パネリストをさせて頂いたり病院訪問や研修会などで話をさせてもらいました。

こうして振り返ると皆さんにお誘い頂いて、私なりに成長することができました。

私は目的に向けて決心するのが苦手です。役員会で出席していても、自分から進んで皆様と共に造り上げて行く大事な御仕事なのにもやもやとして緊張したり人の話を聞いてなかったりもします。それでも大堀さんと山本さんから教わった課題「人としての尊厳と、地域で暮らせる事」は私の身をもって感じたので、感謝の心を忘れず少しでも多くの人に伝えたいと思います。今年は、たあくらたあの編集の戸崎さんがおっしゃっていた温度差（障がいのある人と障がいの無い人の温度差）について多様性の中に生じている差別について考え学びたいと思います。

ピアサポート研修に参加して

H.M 氏

私が一番心に残っているのは、平成 29 年 10 月 25 日に開催されたピアサポート研修です。「障害者権利条約と障がいのある私たちの暮らし」というテーマで藤井克徳氏の講演をお聴きしました。藤井氏は障害者権利条約をわかりやすく説明して下さり、特に「第十七条、個人をそのままの状態でも保護すること 全ての障害者は、他の者との平等を基礎として、その心身がそのままの状態でも尊重される権利を有する。」が一番好きな条文とおっしゃっていました。「そのままの自分でいいんですよ。」とおっしゃっていただき、私は勇気をいただきました。なんて素晴らしい条約なんだろうと思いました。そして、3匹の蛙のお話をいただきました。3匹の蛙がミルクタンクの中に落ちてしまいました。1匹目はもうダメだとあきらめて死んでしまいました。2匹目はなんとかかなるさと思っていたら死んでしまいました。3匹目は動いて動いて手足を動かしたら、バターができて助かったというお話です。「運動は何かを変える。人の心を動かす。運動は裏切らない。」という言葉が一番印象に残っています。

長野県ピアサポートネットワークからのお知らせ

平成30年度 長野県ピアサポートネットワーク 定期総会 及び 交流会

日時： 平成30年4月21日(土) 受付開始：12:30 開会：13:00

場所： 松本市中央公民館 M ウィング 3階会議室 (松本市中央1丁目18-1)

総会 13:00~14:15 * 会員の皆さまのご出席・ご意見を願ひ申し上げます。

平成29年度事業報告・決算報告

平成30年度事業計画・予算案・役員体制等

交流会 14:30~16:30

テーマ「集い 話そう 互いの気持ち」少人数のグループに分かれて交流します。

参加費： 無料 どなたでもご参加いただけます

申し込み・問い合わせ：長野県ピアサポートネットワーク (NPO法人ポプラの会内)

TEL 026-228-3344 FAX 026-224-3777 担当：大堀・山本・穂苺

しめきり： 4月17日(火)まで(当日参加も可) E-mail: nagano.peer-support@kind.ocn.ne.jp

申し込み用紙： 同封のご案内チラシ兼申し込み用紙の裏面をお使いください。

FAX、郵送、ご持参でメールでお申し込み頂けるとありがたいです。

会員の方、賛助会員の方、入会していない個人の方、当日参加でもお申込みいただけます。

大勢の皆さまのご参加をお待ちしております。

街頭署名の御願ひ

以下の通り、きょうされん全国署名の街頭署名を行います。

皆さまのご協力をお願いします。

日時： 平成30年4月7日(土) 13:00~

1時間半~2時間程度

(途中参加、途中退出もOKです。)

集合： 12:50 JR長野駅MIDORI1階バス乗り場付近

(署名場所に直接行かれてもOKです)

署名場所：JR長野駅西口 ながの東急近くロータリー・

横断歩道近辺で、署名と募金をします。

沢山の方のご参加・ご協力をお願いします。

障害のある人への理解と支援を広げ国に社会報償費を先進国並

みにする等を請願します。暖かい服装でお出かけください。

長野県障がい者の地域交通網を考える会より

交通機関の利用状況についてのアンケート(平成29年12月12日~平成30年2月9日実施)にたくさんの方からご回答をいただきました。ご協力してくださった皆様、本当にありがとうございます。集計結果については、NPO法人ポプラの会のホームページに掲載してありますので、是非ご覧ください。

URL:<http://www.poplar-nagano.sakura.ne.jp/>

交通網を考える会ではアンケート結果を踏まえ、JRへの交渉も視野に入れて検討をしていきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

新規入会及び会員継続の御願ひ

(すでに平成30年度分のお手続きをさせていただいている方には、重複する失礼をお許しください。)

当会は発足当初からピア同士の支え合いを第一に、交流会などの活動をして参りました。また県から障がい者支え合い活動支援事業を受託し、普及啓発や個別支援(地域移行)、ピアサポート研修を実施しています。

皆様には、これらの活動にご理解ご支援を賜り、感謝に堪えません。

今回、会費納入用の郵便振替用紙を同封させていただきました。

会費は当会の運営、ピアサポートの推進のため公正に使わせていただきます。

新規入会もしくは継続のお手続きをいただけますよう、お願ひ申し上げます。



【編集後記】この4月にネットワークが発足して9年目に入ります。皆さんのおかげでピアサポートの和が広がってきました(O)。

待ちかねた春がやってきました。咲き誇る花々が美しいですね。信州は冬が厳しいだけに、余計春の到来が嬉しいです。(Y)